防災と利用の観点から検討が必要な
堤防道路の様子

地域と協働した河川管理のイメージ

・今までよりも災害情報は早く的確になりますが、住民がその情報を活かせるということで、住民側にどうなってもらいたいというところまで、減災対策という言葉の中で実効性のあることを含めた議論をしないといけないと思います。

・住民の自発的な行動と行政の行動を整備計画の中でどんなふうにうまく表現するのか、あるいはそういう仕組みをどうつくるのかというところも、工夫して頂きたいと思います。

次回の予定について

第11回流域委員会は、平成18年９月頃開催予定です。
これまでのとりまとめとして「河川整備計画（治水、水利用、環境）について」を議題とする予定です。

編集後記

環境の目標設定・整備メニュー（案）については、流域における水、物質循環の視点や、水質、生態系、景観から見た実効的かつ具体的な施策の在り方に関し活発な議論が展開された。維持管理についても、行政と住民の行動や協働の在り方、合意形成の仕組みなどに関して多くの議論があり、この通信に記載された意見はそれらのごく一部に過ぎない。委員会のホームページ等で、その一部始終を是非ご覧いただき、河川整備計画の策定に向けて意見の集約を図る方向を見据えつつ、今後の議論を見守っていただければ幸いである。

（副委員長　松尾 直規）

土岐川庄内川
流域委員会通信
VOL.9

監修/土岐川庄内川流域委員会
発行/土岐川庄内川流域委員会事務局
国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所
462-0052 名古屋市北区福徳町5-52　TEL 052-914-6711
フリーダイヤル 0120-4071-41
ホームページ ● http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/
メールアドレス ● shonai@cbr.mlit.go.jp

土岐川庄内川流域委員会に関して詳しく知りたい方は、庄内川河川事務所ホームページをご覧ください。これまでの経緯や、会議資料、議事抄録等を掲載しています。

土岐川庄内川
流域委員会通信

土岐川庄内川
コレカラ
プロジェクト

VOL.9
発行日：平成18年9月19日

土岐川庄内川流域委員会の議事内容と、関連情報をお知らせしていきます。

第10回 土岐川庄内川流域委員会が開催されました

開催日時
平成18年6月23日（金）
13:30～17:00

会場
名古屋ガーデンパレス
3F　栄

◇第10回土岐川庄内川流域委員会審議内容

○ 河川整備計画（環境）の目標・整備メニュー（案）について

コレカラプロジェクトレポートVol.1でまとめられた環境上の課題を踏まえ、河川整備計画（環境）の目標（案）及び整備メニュー（案）について説明し、次のような意見をいただきました。

・川の健康を見るのは、やはり生き物がちゃんと生きているということであり、何よりよいのは海と川をつなぐ生き物が、きちんとライフサイクルを全うできる状況をつくることがわかりやすい目標になると思います。その点で、現状の阻害要因やアユが量的にどれだけいるかということに対し、例えば魚道を作ることでどの程度の見通しになるのか具体性が必要だと思います。

・庄内川はアユがシンボルの矢作川とは違い、アユの生産量や生息量という視点を環境目標にしているわけではないと思います。では、どうやって庄内川を自然環境のよい川にしていくかというと、一つは、アユという見方をします。海と川と、さらに上流ともつないでいる生き物を考え、どんな水深や流量が必要で、水質がどれぐらい必要で、横断構造物の阻害がどのようにあるのか、という視点で問題点を解決することで、アユが確認されたポイントの情報によって少しずつ改善されていくことで分かると思います。